# 建 設 業 景 況 調 査 2025年度 第2回

/ 2025年 7月~ 9月 実 績 2025年10月~12月 見通し

### 2025年10月

北海道建設業信用保証株式会社東日本建設業保証株式会社西日本建設業保証株式会社

# 目 次

Ι.	建調	党業:	景况調査について
	1.	調金	<b>荃要領······</b> 1
	2.	B.S	.I.およびグラフの見方について・・・・・・・2
	3.	今回	回調査の実施要領・・・・・・・・・・ 3
Π.	調金	<b></b>	果
	1.	概备	見 $\cdots$ 4
	2.	主勢	要項目別の動向
		(1)	地元建設業界の景気・・・・・・ 5
		(2)	受注
		(3)	資金繰り····· 8
		(4)	金融10
		(5)	資材······ 12
		(6)	労務······ 13
		(7)	収益14
		(8)	経営上の問題点・・・・・・・・15
Ш.	付原	<b>属統</b>	計資料・・・・・・・・・・・・16
IV.	調金	生票:	21

# I. 建設業景況調査について

## 1. 調查要領

### (1)調査の目的

全国の建設企業の経営動向の調査を行い、建設業のおかれている状況を総合的に迅速かつ的確に把握することを目的としています。

(2)調査の時期

毎年3、6、9、12月

- (3)調查項目
  - ① 経営動向地元建設業界の景気、受注、資金繰り、金融、資材、労務及び収益の状況
  - ② 経営上の問題点

### (4) 調查対象

保証事業会社と取引関係にある建設企業のなかから、地区別、業種別、規模別の分布状況を考慮して、建設業の経営動向を反映するに足りると認められる企業を対象としています。

なお、調査対象企業は原則として固定しています。

(5)集計方法

企業回答を単純集計

(6)調查方法

郵送によるアンケート調査

### 2. B.S.I.およびグラフの見方について

### ≪B.S.I.とは≫

本報告書では、棒と折れ線の混在グラフで調査結果を表示しています(グラフ1)。

### ≪B.S.I.の求め方≫

集計結果から、以下の方法によりB.S.I.が求められます。

### 【回答企業構成比】

(景	<b></b>	集計)		(B.S.I.集計	<del>-</del> )
良 やや	い 良い	10%	— 良	V	25%
変ら		45%	— 変	らず	45%
やや 悪	悪い い	20%	— 悪	V /	30%
合	計	100%	<b>一</b> 合	計	100%

**B.S.I.=**(「良い」と回答した企業割合-「悪い」と回答した企業割合) $\times 1/2$ 

 $= (25-30) \times 1/2$ 

 $= \triangle 2.5$ 

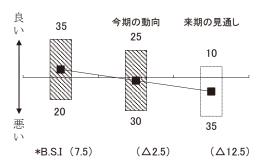
### ≪B.S.I.の見方≫

B.S.I.は「良い」「悪い」などの変化方向別回答数の構成比から全体の趨勢を判断するものです。すべての企業が「良い」とみている場合、B.S.I.は50、逆は△50、すべてが「変らず」の場合は0となります。

(グラフ1)では、B.S. I. が7.5から△2.5 になっています。これは、前期より景気が良い(景気は上昇局面にある)と判断している企業が多い状態から、前期より景気が悪い(景気は下降局面にある)と判断している企業が多い状態に変っていることを示しています。この上昇から下降への変わり目(0が基準)を景気の山といい、逆の場合を景気の谷といいます。

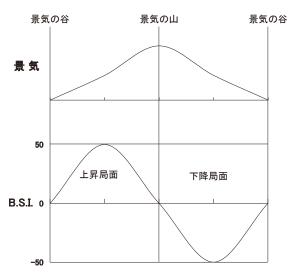
(グラフ2)は、その景気の山・谷とB.S.I. の動きの対応関係を示したものです。

### (グラフ1)



- 1.棒グラフは、回答企業の構成比(%)を示す。
- 2.折れ線グラフは、B.S.I.を示す。
- 3.\*印を付しているB.S.I.は季節調整済である ことを示す。

### (グラフ2)



### ≪季節調整済のB.S.I.について≫

「季節調整済」とは、季節調整法により、毎年繰り返される季節的な変動を取り除いていることを示します。例えば、百貨店の売上げは、社会的慣習である中元や歳暮のシーズンには前期比で大幅に伸びますが、この伸びは景気回復によるものなのか、あるいは、単に中元・歳暮という季節的な変動によるものなのか、よくわかりません。そこで、景気動向の趨勢をみるためには、この季節的変動を取り除く必要があります。このため、本調査では、このような季節的な変動をもった調査項目は、季節調整を行って表示しています。

# 3. 今回調査の実施要領

調査時期 2025年 9月

調査対象期間 2025年 7~ 9月 実績 2025年10~12月 見通し

調査対象企業 2,462 社

有効回答企業 2,217 社(有効回答率90.0%)

### 回答企業の内訳

								四:	<u>合业</u>	三美	の内訳	
地区	業種	土工		建工	築 事 業		大建築 事 業		事	備業	計	地区の内訳
北海	道		119		23		62	2		31	235 ( 10.6)	北海道
東	北		102		61		90	)		55	308 (13.9)	· 后自
関	東		128		79		117	7		93	417 (18.8)	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉 東京、神奈川、山梨、長野
北	陸		76		25		81	-		41	223 (10.1)	新潟、富山、石川、福井
東	海		92		31		59	)		37	219 ( 9.9)	静岡、愛知、岐阜、三重
近	畿		70		43		61	-		29	203 (9.2)	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良和歌山
中	国		85		29		39	)		29	182 (8.2)	鳥取、島根、岡山、広島、山口
匹	国		57		28		24			23	132 (6.0)	徳島、香川、愛媛、高知
九	州		123		56		73	3		46	298 ( 13.4)	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分 宮崎、鹿児島、沖縄
計	<u> </u>		852		375		606	3	G	384	2,217	
П	ı	(	38.4)	(	16.9)	(	27.3	)	(17	.3)	(100.0)	

\*()内の数値は構成比率(%)

注)① 土木工事業 : 土木工事が完成工事高の8割以上を占めるもの② 建築工事業 : 建築工事が完成工事高の8割以上を占めるもの

③ 土木建築工事業:土木工事及び建築工事の合計が完成工事高の8割以上を

占めるもので、①、②以外のもの

④ 設備工事業 : 設備工事(電気工事・管工事)が完成工事高の8割以上を

占めるもの

### Ⅱ. 調査結果

### 1. 概観

- 地元建設業界の景気(B.S.I.値)は、前期比で1.0ポイントマイナス幅が拡大し、「悪い」傾向が続いている。
- ・ 地区別でみると、すべての地区で「悪い」傾向となっており、東北が▲16.0と最もマイナス が大きくなっている。
- 受注総額(B.S.I.値)は、前期比で0.5ポイントマイナス幅が拡大し、 「減少」傾向が続いている。
- ・ 地区別でみると、すべての地区で「減少」傾向となっており、東北が▲13.5と最もマイナスが大きくなっている。

【今期:前期(2025年 4~6月)に比べた今期(2025年 7~9月)の状況】 【来期:今期(2025年 7~9月)に比べた来期(2025年 10~12月)の状況】

1/1/2			10204				2024/12		2025/6	2025/9	V 1/(1/L)	2025/12	
	項			目			B.S.I.値	B.S.I.値	(前期) B.S.I.値	(今期) B.S.I.値	前期比	(来期) B.S.I.値	今期比
(1)業	況 等	地:	元建	設業	界の対	景気		<b>▲</b> 9.5	<b>▲</b> 9.5	<b>▲</b> 10.5	<b>▲</b> 1.0		<b>▲</b> 2.5
		受	洼	È	総	額	<b>▲</b> 9.5	▲ 8.5	▲ 8.5	▲ 9.0	▲ 0.5	<b>1</b> 2.5	▲ 3.5
(2)受	注	ī	官が	` F	Ţ	事	▲ 11.0	<b>1</b> 1.0	<b>1</b> 1.0	▲ 10.5	0.5	<b>▲</b> 14.5	<b>4</b> .0
		E	民	間	I	事	<b>▲</b> 7.5	<b>▲</b> 7.5	<b>▲</b> 7.0	<b>▲</b> 9.0	▲ 2.0	▲ 11.0	▲ 2.0
(3)資	金 繰り	資	숰	È	繰	IJ	1.5	1.0	1.0	1.0	0.0	▲ 2.0	▲ 3.0
		銀	行等	賃	出倾	向	6.0	6.0	6.0	6.0	0.0	5.0	▲ 1.0
(4)金	融	短	期	借	入	金	0.5	1.5	0.5	0.5	0.0	0.5	0.0
		短	期	借	入金	利	14.0	19.5	17.5	14.5	▲ 3.0	13.5	▲ 1.0
(5)資	材	資	材	の	調	達	<b>▲</b> 4.5	<b>▲</b> 4.5	<b>▲</b> 4.5	▲ 5.0	▲ 0.5	<b>▲</b> 6.5	<b>▲</b> 1.5
(0)貝	121	資	木	<b>†</b>	価	格	29.5	31.5	32.0	29.0	▲ 3.0	28.5	▲ 0.5
(6)労	務	建	設労	働者	者のる	在 保	▲ 25.0	▲ 26.5	▲ 26.0	▲ 26.0	0.0	▲ 27.5	<b>▲</b> 1.5
(0)3	<b>打力</b>	建	設労	働者	者の貨	重 金	25.5	26.0	30.5	27.5	▲ 3.0	25.5	▲ 2.0
(7)収	益						▲ 10.0	<b>▲</b> 9.5	▲ 8.5	<b>▲</b> 7.0	1.5	▲ 12.0	▲ 5.0

注) B.S.I.値のプラスは、良い、増加、容易、上昇の傾向を示す。

B.S.I.値のマイナスは、悪い、減少、困難、下降等の傾向を示す。

B.S.I.値は、季節調整により前回公表時と異なる場合がある。

<sup>〔</sup>詳細は、次頁以降「主要項目別の動向」をご覧下さい。〕

# 2. 主要項目別の動向

# (1) 地元建設業界の景気

 今
 悪い傾向が続いている。

 期
 地元建設業界の景気は、「悪い」傾向が続いている。

 地区別、業種別、規模別でみると、すべての区分で「悪い」傾向となっている。

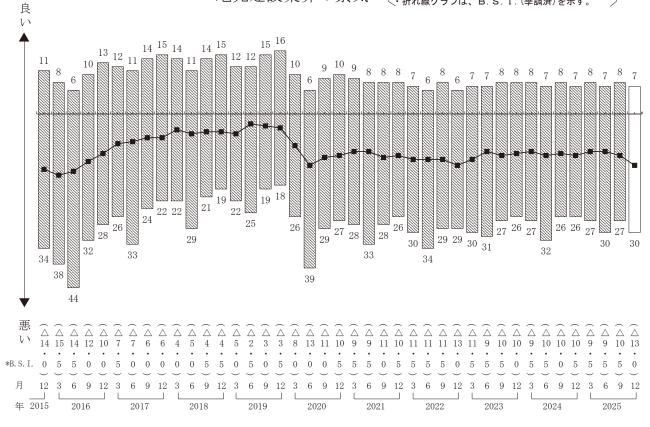
 来
 悪い傾向がやや強まる見通し。

 期
 地元建設業界の景気は、「悪い」傾向がやや強まる見通しとなっている。

地区別、業種別、規模別でみると、すべての区分で「悪い」傾向の見通しとなっている。

### 地元建設業界の景気

・棒グラフは、回答企業の構成比(%)を示す。 、・折れ線グラフは、B.S.I.(季調済)を示す。



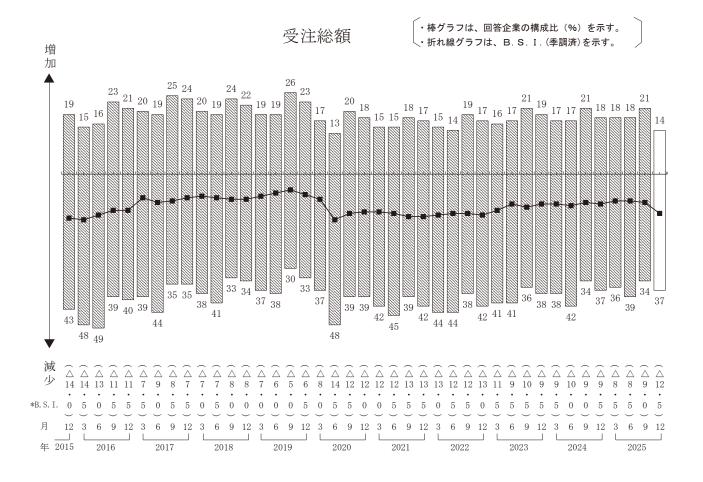
# 2. 主要項目別の動向 (2) 受注

 今
 減少傾向が続いている。

 要注総額は、「減少」傾向が続いている。
 官公庁工事と民間工事はともに「減少」傾向が続いている。

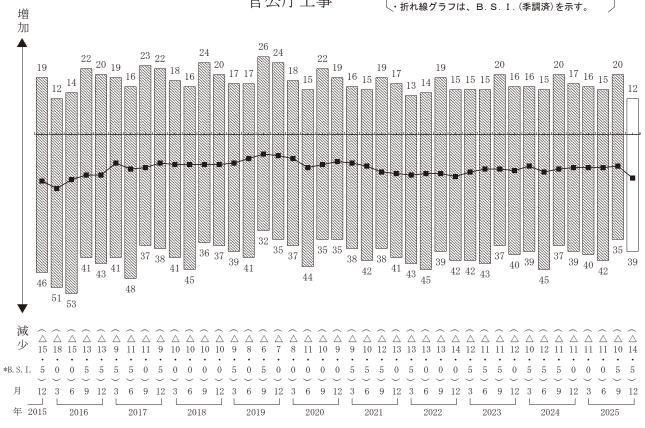
 来
 減少傾向がやや強まる見通し。

 要注総額は、「減少」傾向がやや強まる見通しとなっている。
 官公庁工事は「減少」傾向がやや強まり、民間工事は「減少」傾向が続く見通しとなっている。



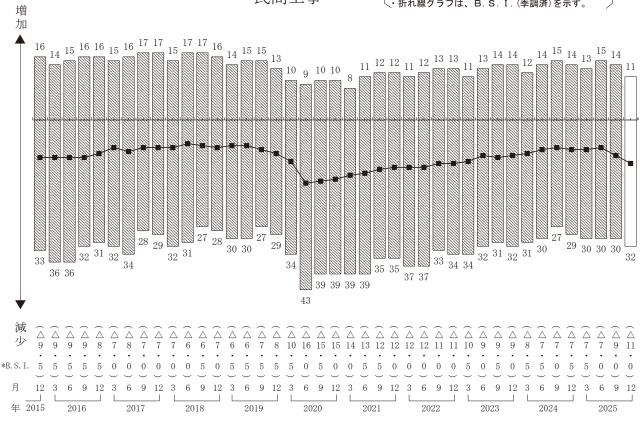


・棒グラフは、回答企業の構成比(%)を示す。 、・折れ線グラフは、B.S.I.(季調済)を示す。



### 民間工事

・棒グラフは、回答企業の構成比(%)を示す。 、・折れ線グラフは、B. S. I. (季調済)を示す。



# 2. 主要項目別の動向

# (3) 資金繰り

今

期

容易傾向が続いている。

資金繰りは、「容易」傾向が続いている。

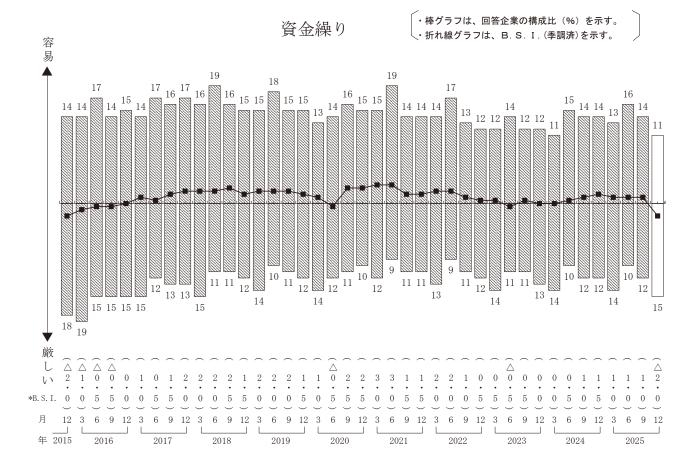
支払手形の平均サイトは、「~60日」(61.3%)、「61~90日」(23.4%)の順となっている。

受取手形の平均サイトは、「61~90日」(36.2%)、「~60日」(34.6%)の順となっている。

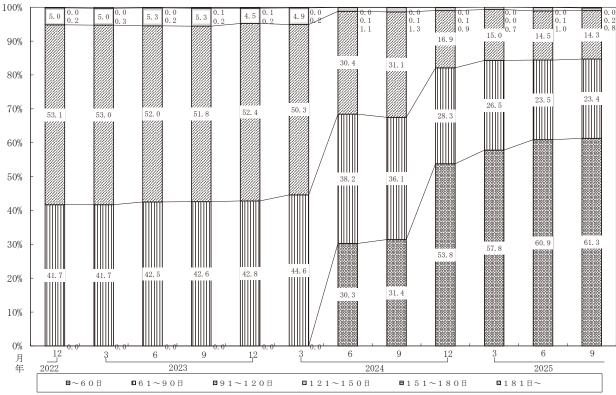
来厳しい傾向に転じる見通し。

質金繰りは、「厳しい」傾向に転じる見通しとなっている。

地区別でみると、北海道、近畿を除くすべての地区で「厳しい」傾向の見通しとなっている。

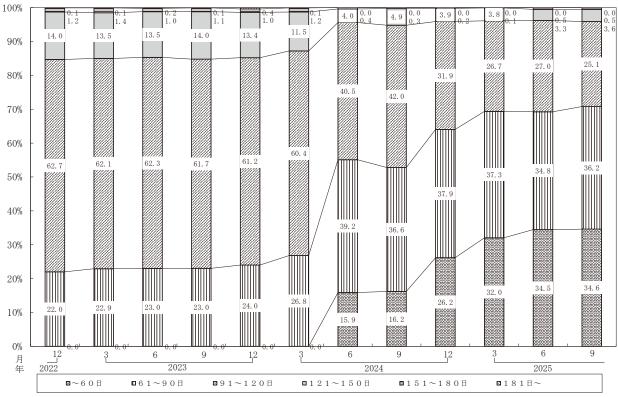


### 支払手形の平均サイト



※2024年6月分から調査票の回答区分を変更(「 $\sim$ 60日」を新設、「181日 $\sim$ 」を廃止)。変更前の「 $\sim$ 60日」及び変更以後の「181日 $\sim$ 」は「0.0」と表記。

### 受取手形の平均サイト



※2024年6月分から調査票の回答区分を変更(「 $\sim$ 60日」を新設、「181日 $\sim$ 」を廃止)。変更前の「 $\sim$ 60日」及び変更以後の「181日 $\sim$ 」は「0.0」と表記。

# 2. 主要項目別の動向

# (4) 金融

### 短期借入金利は上昇傾向がやや弱まっている。

期

銀行等貸出傾向は、「不変」とする企業が8割を占め、基調は変わらないものの、

「容易」傾向が続いている。

短期借入金は、「増加」傾向が続いている。

短期借入金利は、「上昇」傾向がやや弱まっている。

短期借入金利は上昇傾向が続く見通し。

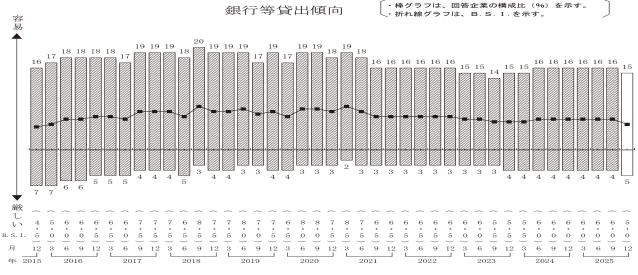
来 期

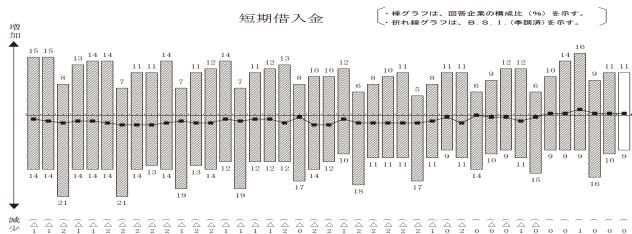
銀行等貸出傾向は、「不変」とする企業が8割を占め、基調は変わらないものの、

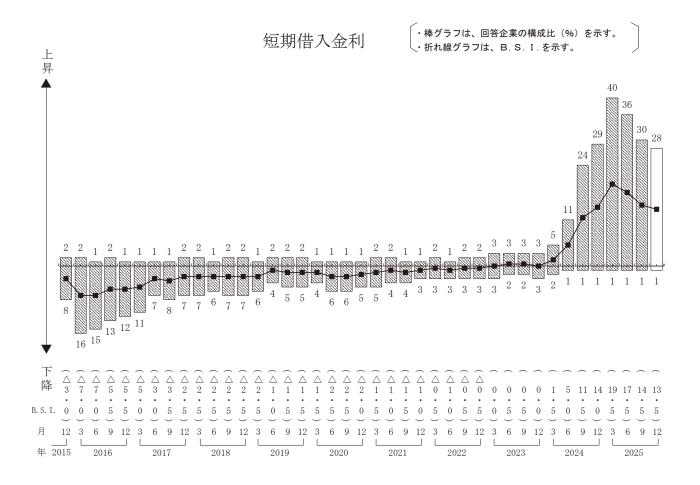
「容易」傾向が続く見通しとなっている。

短期借入金は、「増加」傾向が続く見通しとなっている。

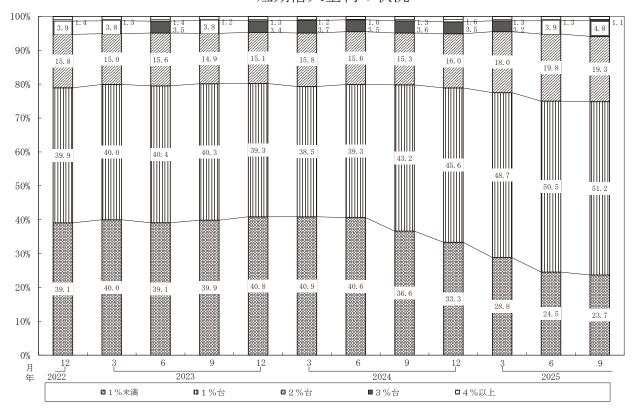
短期借入金利は、「上昇」傾向が続く見通しとなっている。







### 短期借入金利の状況



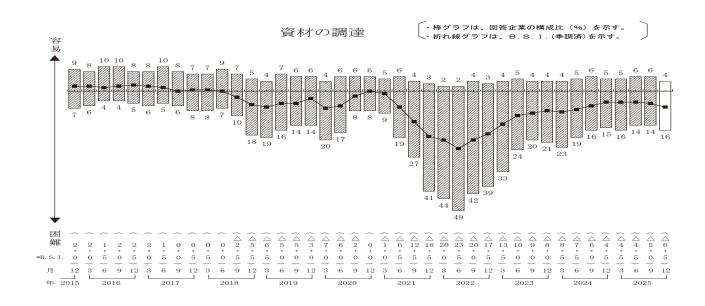
# 2. 主要項目別の動向 (5) 資 材

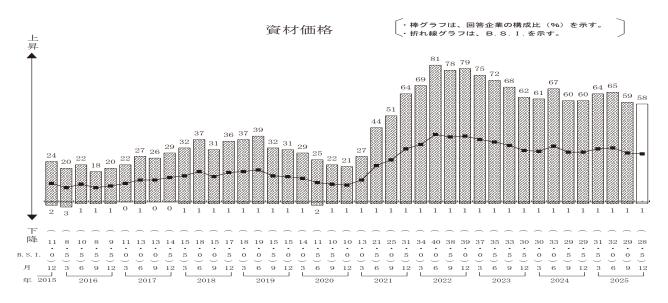
今資材価格は上昇傾向がやや弱まっている。

期 資材の調達は、「困難」傾向が続いている。 資材価格は、「上昇」傾向がやや弱まっている。

来
資材の調達は困難傾向が続く見通し。

期 資材の調達は、「困難」傾向が続く見通しとなっている。 資材価格は、「上昇」傾向が続く見通しとなっている。





# 2. 主要項目別の動向 (6) 労務

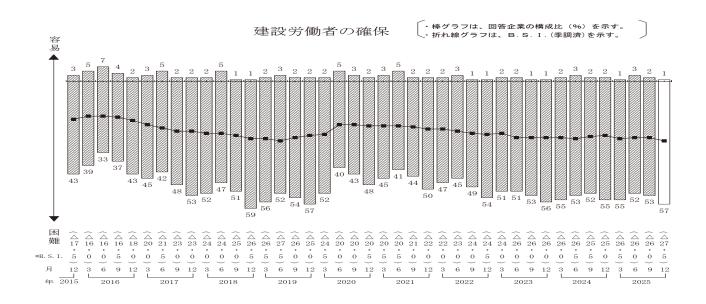
今 建設労働者の賃金は上昇傾向がやや弱まっている。

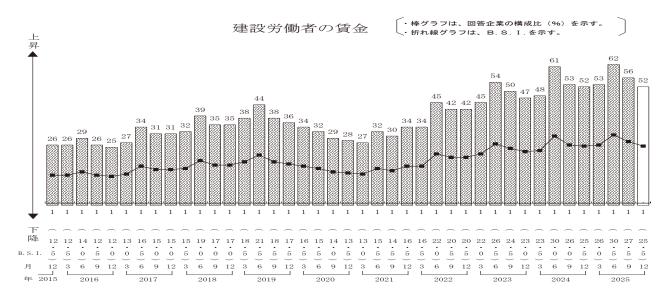
建設労働者の確保は、「困難」傾向が続いている。

建設労働者の賃金は、「上昇」傾向がやや弱まっている。

来 建設労働者の賃金は上昇傾向が続く見通し。

期 建設労働者の確保は、「困難」傾向が続く見通しとなっている。 建設労働者の賃金は、「上昇」傾向が続く見通しとなっている。





### 2. 主要項目別の動向 (7) 収 益

減少傾向が続いている。

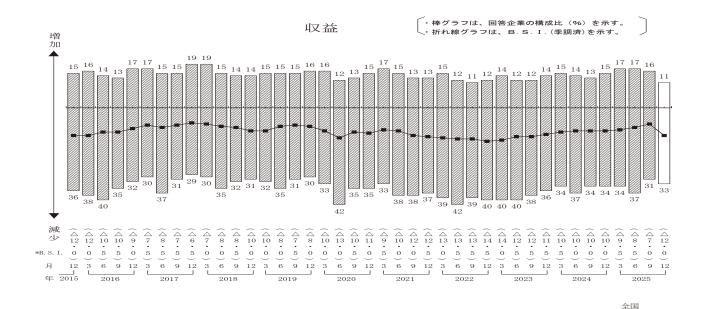
収益は、「減少」傾向が続いている。

期 収益の「減少」理由をみると、「完成工事高の減少」(77.3%)が最も多く、「資材価格の上昇」 (46.3%)、「人件費の上昇」(44.6%)の順となっている。

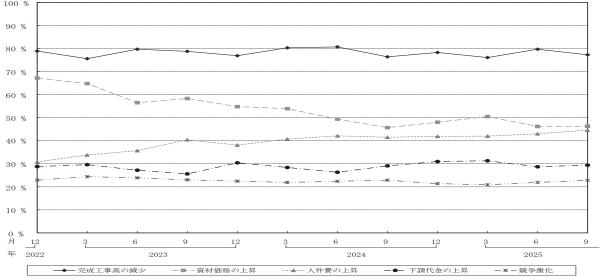
減少傾向が強まる見通し。 来

収益は、「減少」傾向が強まる見通しとなっている。 期

地区別、業種別、規模別でみると、すべての区分で「減少」傾向の見通しとなっている。



収益増加・減少の理由 (減少)



# 主要項目別の動向

# (8) 経営上の問題点

1位は人手不足。

期

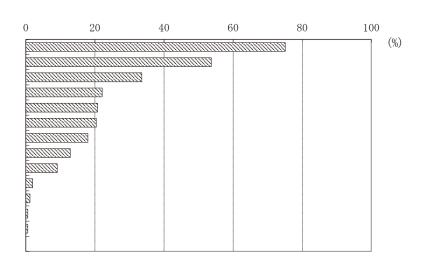
現在、建設企業が直面している経営上の問題点は、「人手不足」(75.1%)が最も多く、 「従業員の高齢化」(53.7%)、「受注の減少」(33.6%)の順となっている。

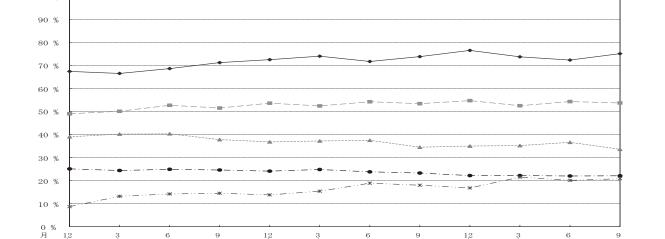
# 今期の経営上の問題点

人手不足 従業員の高齢化 受注の減少 競争激化 人件費の上昇 資材価格の上昇 下請の確保難 下請代金の上昇 諸経費の増加 資材の確保難 金利負担の増加 借入難 その他 代金回収難

2022

◆ 人手不足





経営上の問題点

-▲--- 受注の減少

12

一\*一人件費の上昇

-●- 競争激化

12

-■-従業員の高齢化

П
$\mathcal{O}$
無
庚
₩.
ú
Ø
0
S
$\overline{}$

(2025年度第2回)		1億 末満 円以上		18.0 15.0	4		20.0 I7.0 -7.5 -6.5			-8.0 -9.0															1	32.0 34.0				_			9.0 20.3		-24 5 -22 0					27.0 23.0	
(2025	金別	5千万日未満日		26.0			30.0							20.02										10.0		29.0				_	60.0				0.00					33.0 2	
	資本金別	1千万 5 日未満 円		47.0	4											_								21.0				11.0		_			┵		-245					47.0 3	
		個人 円 円	0.001		50.0		37.5	1		-1.0				100.0			50.0							50.0	4			0.001		4	20.0		$\downarrow$		0.00					50.0	Ė
		30億円以上		13.0							1										1.0	8.5			'	34.0	16.0						╧		93.0					22.0	_
	ğı]	30億 日米浦		19.0	1			1																	_			5.0		_			$\perp$	0.0	-26.0	62.0				28.0	
	完工高別			25.0																				10.0				0.9		_			↓	0.0	-28.0	55.0	1.0	27.0	15.0	31.0	-7.5
																										24.0	11.0	7.0	15.0	-2.0	63.0	1.0	9.0	0.0	0.26	48.0	2.0	23.0	14.0	40.0	-13.5
		設備			4			_																	4	1.0				_			4							20.0	4
	31	十 編 編 編	16.0	21.0	-2.5	0.7	26.0	20.0	37.0	-10.5	17.0	31.0	-7.5	22.0	33.0	-7.5	15.0	9.0	2.0	17.0	3.0	7.0	12.0	9.0	0.00	32.0	15.5	5.0	14.0	-2.0	57.0	1.0	1.0	0.1	0.4.0	54.0	1.0	26.5	17.0	29.0	-5.5
	業種別	建築	15.0	21.0	-3.0	5.0	25.0	16.0	0.00	-10.5	17.0	28.0	-7.0	19.0	28.0	-8.5	14.0	12.0	0.5	14.0	4.0	5.0	13.0	10.0	1.5	31.0	15.0	3.0	13.0	-5.5	26.0	1.0	2.0	0. 6	-21 0	52.0	2.0	25.0	14.0	30.0	-8.5
		* +	16.0	28.0	0.0	0.0	32.0	20.0	40.0	-12.5	8.0	31.0	-13.0	19.0	40.0	-13.0	15.0	14.0	0.5	17.0	4.0	6.5	12.0	10.0	0.0	30.0	14.5	0.9	13.0	-4.0	62.0		9.0	0.0	28.0	0.09	1.0	29.5	15.0	37.0	-10.5
1112		九州	16.0	24.0	-4.0	0.7	24.0	0.00	30.00	-8.57	13.0	30.0	-7.5	21.0	33.0	-7.5	14.0	14.0	0.5	21.0	3.0	9.0	10.0	12.0	c.0-	33.0	16.0	8.0	16.0	-5.5	65.0	L	3.0	0.0	20.0	63.0		31.5	15.0	29.0	-2.0
建設業景況調査データ表		田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	18.0	21.0	-1.5	5.0	30.0	20.0	30.0	-9.0	14.0	29.0	-8.5	24.0	29.0	-7.0	11.0	11.0	0.0	16.0	4.0	0.9	12.0	5.0	4.5	0.12	10.0	2.0	13.0	0.9-	52.0	2.0	0.62	0.0	25.0	52.0		26.0	21.0	26.0	-3.5
<b>景況調査</b>		H	16.0	21.0	-2.5	5.0	26.0	16.0	34.0	-11.5	15.0	27.0	-7.0	20.0	34.0	-9.5	13.0	9.0	1.0	15.0	4.0	5.5	0.9	12.0	C.2-	0.82	12.5	0.6	7.0	-0.5	55.0	0.10	0.72	0.1	0.00	50.0	2.0	24.0	18.0	27.0	-3.5
建設業		近畿	19.0	25.0					36.0	-10.0	15.0	31.0	-7.0	21.0	33.0	-7.0	18.0	12.0	2.5	17.0	4.0	6.5	9.0	15.0	-3.5	1.0	13.5	4.0	15.0	-6.5	0.09	0	30.0	0.0	49.0	54.0	2.0	26.0	18.0	29.0	-5.5
	地区別	東海	19.0	25.0	-3.0	0.0	27.0	18.0	36.0	-14.0	14.0	31.0	-9.5	21.0	35.0	-10.0	14.0	11.0	1.0	15.0	4.0	5.5	13.0	9.0	2.0	32.0	15.5	5.0	12.0	-5.0	64.0	0	32.0	15.0	-22.5	54.0	2.0	26.0	20.0	29.0	-4.5
		光陸	17.0	16.0			20.0			0.6-		24.0	-6.0	22.0	30.0	-8.5	17.0	11.0	1.5	19.0	2.0	8.5	14.0	7.0	2.0	28.0	13.0	5.0	16.0	0.9-	56.0	1.0	0.77	1.0	0.76	56.0		28.0	18.0	27.0	-4.5
		民	16.0	20.0	-2.0	0.00	24.0 -8 5	19.0	35.0	-11.0					33.0	0.6-	14.0	12.0	1.0	16.0	3.0	6.5	10.0	12.0	-1.0	28.0	13.5	5.0	15.0	-6.5	61.0	2.0	0.67	0.0	0.26	55.0	2.0	26.5	15.0	30.0	-2.0
		東北		31.0	4		37.0						_											9.0	4			7.0		_	57.0		$\downarrow$		0.4.0	<u> </u>	1.0			40.0	-13.0
		北海道		21.0			24.0			-9.0																		4.0					$\perp$		20.0		1.0			34.0	
(H)		分	17.0	23.0	-3.0	0.00	27.0	20.0	35.0	-10.5	14.0	30.0	-9.0	21.0	34.0	-9.0	14.0	12.0	1.0	16.0	4.0	6.0	11.0	10.0	0.0	30.0	14.5	0.9	14.0	-5.0	59.0	1.0	29.0	0.0	0.50	56.0	1.0	27.5	16.0	31.0	-7.0
			良い	影	BSI	S :	新 EVEL TSE	TEQ 平	10 元	BSI	増加	減少	BSI	増加	減少	BSI	容	厳しい	BSI	松	厳しい	BSI	基力	漢	PSI	<b>山下</b> 畔 露	BSI	松	圏	BSI	<u>내</u>	姓上	BSI W	本 田	ESI E	古古	世	BSI	増加	減少	BSI
<今期の動向-1>				自社の業況		1 1 1 1 1 1 1	地元建設業界の景気	*	4. 中心中一車	+	*	民間工事		*	受注総額		*	資金繰り			銀行等貸出傾向		*	短期借入金		短期借入会利		*	資材の調達			資材価格	÷	4. 计二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	<b>建設力側台が備水</b>		建設労働者の賃金		*	収益	BSI
Ÿ				継	完	排					紐	6	共	以					用品	長沙	K 4	調	Ę	6	*	足				海	Þ	• }	R A	3 6	*	迟					

-16-

建設業景況調査データ表

(2025年度第2回)

	<今期の動向-2>	全国									-		All of the second		-		1		F		-		
		± <			-		地区別	-	-	-			<b>案種別</b>	-			ᄪ	L			資本金別		
		<b>₹</b>	北海道	東光	異	쓨	東海	近畿	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	H	九州 土	上十 建	建築 计		設備円	3億 10 3未満 円未	10億 30億 34 30億	6 30億 道 円以上	上面 個人	1千万万米万	5千万田米那	1億米日	1億 円以上
	年コン・セベント	4.5	7.7	3.9	5.0	6.7	1.8	3.0	4.9	2.3		5.3		0	ري د ي						4.2	5.6	3.6
	罗利·薛石·罗 1、21二十一举雪	ω. 4 υ. σ	7.7	5.2	1.9	9.6	1.4	2.5	2.7	x 0			1.9			3.7	2.0		50.0	5.3	5.7	4. 4 8. 4	x:-
	ゴンシードー穴状品	 	4.0	2.4	0.4.0	7.7	0.0	4.6	9.3	0.0									1 0	0.0	0.0	 ω α	2.1
		4.7	F 6.8	3.9	3.1	4.0	4.6	7.4	2.7	3.0											4.2	6.3	4.7
		6.4	11.5	4.2	4.1	11.2	7.8	5.4	6.0	5.3									6		6.3	6.9	6.5
	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	2.5	3.8	2.3	1.2	3.1	3.2	3.9	1.6	3.0									. 00		2.2	3.2	3.6
		1.7	2.1	1.6	1.0	0.9	1.8	3.0	2.2	3.8									- ∞		1.5	2.2	1.2
		1.2		1.3	1.2	1.8	0.5	0.5	2.2	2.3										5.3	1.3	1:1	9.0
1	植び御	0.9	0.4	1.6	1.9	1.3	0.5	1.0											1		0.9	1.1	
	電材	5.8	3.4	5.8	8.2	6.3	5.5	8.9	9.9	1.5									2	5.3	5.1	7.6	5.9
<b>₹</b> €	から各	0.7	0.4	9.0	1.4	0.4	6.0	0.5	0.5		0.7								6		0.8	9.0	9.0
需	生コン・セメント	13.0	11.9	13.6	8.6	11.7	14.2	12.3		14.4									9 50.0	10.5	12.8	12.8	14.8
删	砂利・砕石・砂	11.5	14.0	11.0	8.9	8.5	13.7	12.8													12.2	10.8	7.7
	コングリート二次製品	5.2	8.5	5.2	4.1	5.8	2.7	5.9											8 50.0		5.2	5.8	3.0
	_	1.6	1.7	1.6	1.4	2.7	1.4	0.5											∞	5.3	1.1	1.1	6.5
		0.4		9.0	0.5	0.4		0.5											6		0.3	0.2	1.8
	が 鋼矢板・鋼管	9.0		1.0	0.5	0.4		1.0											2	5.3	0.7	0.2	9.0
	が本木材	1.7	2.1	2.3	2.4	0.9	0.5	2.0											6	5.3	2.0	0.9	1.2
	の合物	1.0	0.4	1.9	1.4	0.4	6.0	1.5													1.1	1.3	
	アスファルト合材	5.5	3.4	7.1	4.1	4.5	10.0	5.4	7.7										3	5.3	5.2	6.5	4.7
	塩ビ管	1.8	1.3	1.3	2.2	1.8	1.8	3.0											4	10.5	2.2	0.9	1.2
	電材	0.7	2.1		1.2	0.4	6.0	0.5										7.			0.8	0.4	1.2
	その街	0.2			0.7	0.4														_	0.3		
	年コン・セメント	33.9	34.0	33.1	37.4	29.6	33.8	28.1	28.0	36.4	39.3	44.2 3	30.4 3	38.0				30.3	3 100.0	21.1	34.2	33.6	32.5
	砂利·醉石·砂	14.7	17.4	17.2	13.4	18.4	11.9	7.9													17.0	11.7	4.7
	コングリート二次製品	18.9	17.0	17.5	18.9	18.8	21.0	13.3											9 20.0		20.0	17.4	13.6
		6.1	8.1	0.	4.1	4.9	2.0	6.4											4		5.5	27.5	5.3
	昇 形鋼・厚板	4.6	6.0	2.3	4.6	4.5	2.7	9.4											7	ı	4.0	5.0	7.1
		7.5	10.2	8.9	4.8	6.3	10.0	9.4											0	5.3	7.3	2.2	5.9
		5.0	7.7	4.9	3.1	2.0	× .0	5.4											5	ı	 	4.5	4.1
		4.0	ю п 0 п	2.0	2.5	4.0	4.T	D. 0											<b>х</b> о ц	5.3	4.4	2.0	4.1
	ノくノンストロをある。	7.71	 	7. 0	1.4.4	7.11	2.01	4.6											2 0	105	15.1	10.0	10.1
Ø	船を開発し	; «	. L.	; «	19.5	, - ×	- «	13.5												21.1	7.0	9 6	13.0
( ‡	から含	1.7	0.4	1.9	3.1	0.4	6.0	3.0											1 6	1	1.5	1.9	2.4
角布	年によるイント						0.5								0.3	0.2					0.1		
	うたご キューションクリート 二次 参出						0.5									2.0					0.1		
		1.4	6.0	2.3	1.9		2.3	0.5	1.6	2.3	1.0	9.0					0.3 0.		7		0.5	2.4	7.1
		0.7	0.4	1.9	0.7	0.4	0.5		0.5	1.5				1.7			0.5		2		0.3	0.7	3.6
	し 鋼矢板・鋼管	0.2		9.0	0.5						0.3		0.5	0.3				.2 0.7	7			0.7	9.0
		0.2		0.3				1.0			0.3								2		0.2	0.2	
		0.3		0.3		0.4	L	0.5	L	8.0	0.7	0.1	0.5	0.5		0.2	0.1 0.2				0.2	0.2	1.2
	アメンアントの名まず、第一人	0.2		0.3	c	0.4	c.0		c.0			0.4		7.0				ν, c			D.0		
	当に高鶴林	0.1			7.0		 O					7.0				· 		7			0.1		
_	かの舎	0.1		0.3	0.2					8.0		0.2		0.2	_	0.1	_	0.	rc		0.1	0.2	0.6
1		;		2	1					2		1	-	1	]	-	1	;					3

(2025年度第2回)

42回)	1	1億 円以上	2.4	6.5	7.7	0.00	1.8	5.9	18.3	5.3 10.5	15.4	13.6	6.5	5.9	Ţ.		9.0	0.0	0.6			9.0		1.2	7.1	3.6	4.1	12.4	0.0	17.2	5.3	13.0	10.1	3.0	0.0						
(2023年及第2回)	4	1億 円未満	3.0	13.2	8. 7. 8	3.7	3.0	7.2	15.0	19.6	9.6	6.7	3.3	4.6	0.2		1.9	9.0	0.4	0.4	0.2	0.2	0.2	5.8	19.5	3.3	4.3	9.5	5.4 5.4	11.3	7.2	2.8	5.4	2.0	0.2		0.2				
(20	資本金別	5千万 円未満	4.6	16.7	9.1	6.5	5.6	9.01	12.2	10.3	7.5	7.9	3.3	4.6	0.5	0.2	0.9	9.7	0.1	0.4	0.2	7.0	0.5	4.8	25.3	3.8	3.1	8.5	4. ×	10.6	6.7	9.0	8.4	3.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	, , , ,	1千万 円未満	10.5	21.1	5.3			10.5		10.5	10.5	10.5		7						5.3	0	0.0	5.3	10.5	26.3	0.01			rc cu	5.3	10.5	10.5		Ì							
		個人							C	50.0	0.00																	20.0			50.0	0.00									
-	-	30億円以上	2.3	7.9	9.3	4.8	2.3	5.2	18.6	18.1	13.3	9.7	3.6	5.4	0.2		1.8	0.9	0.5	0.5	c	7.0	0.2	3.2	14.7	3.6	4.3	11.5	7.7	16.1	7.9	2.01	8.9	2.0	0.2		0.2				
	高別	30億 日未蒲	20.9	12.5	6.7	9.5 2.6	4.4	6.8	14.3	12.0	7.4	8.1	3.0	 	0.2		1.5	0.3	0.3	0.2	c	2.0	0.3	4.3	22.5	3.0	4.9	7.9	7.6	12.0	5.6	6.0	5.6	2.0	0.2						
		10億 円未満	4.1	20.7	8.7	6.4	6.1	10.5	11.2	0.01	6.7	6.4	4.5	5.0	0.0		0.7	0.3	1	0.4	0.4	0.7	0.3	4.8	25.1	3.1	2.6	5.4	0. ×	8.6	6.7	2.6	4.4	4.2							
	-	3億 日未満	7.5	17.0	11.0	4.2	5.0	12.3	10.0	zi o		8.7	2.7	5.2	0.0	9.0	9.0	9.7	0.2	9.0	0.5	p.0	1.0	6.9	27.2	5.4	1.9	5.0	0.0	9.4	7.3	2.0	8.4	2.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.5
-		設備	1.0	3.6	0.3	0.3		8.0	8.0	Σ. α	33.1	25.8	3.4	1.6	0.3		0.3	0 3				8	0.5	0.8	6.0 0.0	.;	8.0	0.5	n 0	1.0	2.1	1.0	18.5	2.9	0.3	0.3					
		土木 建築	4.3	15.5	9.1	11.1	3.6	9.7	16.8	15.0	5.3	5.6	2.5	5.0	0.3		8:10	0.0	0.2	0.3	0.2	0.0	0.2	4.6	20.6	3.0	4.0	7.6	 	14.0	8.6	0. 6	3.0	2.0	0.2						
·	業種別	建築	4.0	5.1	5.9	10.1	1.6	1.1	15.7	22.1	6.1	5.6	2.4	4.0	;	0.3	2.1	0.1	2	1.1	0.5	-	0.8	4.3	12.0	1.6	5.1	ο · · ·	2.5	14.1	16.0	3.7	2.4	1.9						0.3	0.3
		# #	5.4	24.4	13.3		8.8	16.7	15.3	7.7	1:1	2.8	4.8	6.1	0.7	0.2	9.0	0.1	0.5	0.4	0.1	2.0	0.5	6.9	36.5	6.7	3.5	7.7	1.0 %.1	12.4	3.5	4.1	2.2	3.6	0.1		 0.2	0.1	0.1		
		九州	6.4	19.5	14.1	0.0	5.7	8.7	15.4	7.6	7.7	8.4	3.7	3.7	0.3		0.7	0.3	2	0.3		0.3	}	6.4	24.2	8.1	2.3	7.4	0.0	12.8	8.4	10.4	5.0	3.7							
× / /		四国	7.6	14.4	11.4	C: 00 C: 00 C C: 00 C C: 00 C C: 00 C C: 00 C C: 00 C C: 00 C C 00 C 00	3.0	9.1	9.1	y. 1.	8.3	8.9	5.3	0.00 0.00	0.5		1.5	0	) )					8.9	24.2	6.1	2.3	4.5	4.3 1	9.1	9.1	2 ° °	3.0	4.5			0.8	8.0	8.0		
建政表 京优嗣宜7		田田	3.8	18.7	13.7	6.0	3.8	8.2	10.4	12.1	8.8	11.5	3.8	4.4	0:	0.5	2.2	1.1	0.5	1:1	Lí		1.6	3.3	15.4	4.9	3.3	∞ ı	0.0	11.0	7.1	6.0	4.4	3.3							
# 以米 万		近畿	1.5	12.8	4.8	ა დ 4: 4:	3.0	5.4	14.3	14.8	6.4	8.4	3.0	6.9	1.5	0.5	2.0	0.1	0.5	1.0		1.0	1.5	4.4	16.3	4.4	3.0	9.4	0.2	6.6	10.3	5.4	5.0	1.5	0.5		0.5				
	地区別	東海	2.7	9.1	13.7	2. 00	1.8	3.7	13.2	8.7	8.7	7.3	3.2	5.9	0.5		1.8	9.3	0.5	0.5	0.5	0.0		5.5	23.3	3.2	1.4	5.0	4. α	8.7	5.9	× . r.	5.5	1.4	0.9	0.5					
	_	北陸	4.5	18.8	4.5	7.2	6.3	15.2	13.0	0.6	0.6	6.6	4.0	9.6	1.3		6.0	9.0	1	6.0	0.4	1.0		4.0	23.3	1.8	4.0	6.7	10.3	9.4	3.6	0.5	4.0	2.7							
		関東	4.3	16.5	7.4	6.2	3.6	7.2	8.6	2.0	12.2	8.6	3.1	4.3	0.2	0.2	0.7	0.0				0.2	0.5	4.3	20.4	3.4	3.6	7.2	4. rc	13.2	5.0	0.0	7.9	3.4	7.0					0.2	0.2
		東北	3.2	14.0	5.5	9.7	7.5	15.6	17.5	11.7	4.9	5.5	3.9	5.2	r.,		9.0	0.3	0.3	0.3	0.6	0.0	0.6	4.9	10.7	1.6	4.2	7.1	0.0	9.4	8.1	o. 0.	2.8	1.6							
	l	北海道	3.4	10.2	1.7	9.4	5.5	10.2	14.9	7.7	8.6	6.4	2.6	4.3	0.0		6.0	6 0	0.4			0.4	!	3.8	29.4 28.5	0.4	0.9	8.1	0.0	14.5	5.1	δ. 6 4.	2.6	3.0							
田田	±	(大)	4.1	15.1	9.0	0.0	4.6	9.4	13.3	10.3	8.6	8.0	3.5	4.6	4.0	0.1	1.1	0.0	0.2	0.4	0.2	0.0	0.5	4.8	22.8	3.7	3.4	7.2	0.4.0	11.2	8.9	6.9	5.3	2.8	0.1		 0.1				
V-1																																									
<u>^</u>																																									
)動向-3			無 一	八二二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	石工・ブロックエ		表	転手							* ** I III	石工・ブロックエ		#	· 計						業業	お子・ブロックエ		1	長 情 出	- I					業員	特殊作業員 石工・ブロックエ	一种	十			
<今期の動向			軽作業員 普诵作業目	特殊作業員	有工・	第12分類工作の数	権 一般運転手			K #	ш Н Ш	配管工	その他	軽作業員並活化業目	■ 型 □ 来 页 特殊 作業 員	石工・			41		K ↓ H (i	H H H H	門衛工	軽作業員	晋迪作業員 駐聯作業目	は を を に に に に に に に に に に に に に		QBN:	<ul><li>一校 単野 中た ない ない ない はい はい</li></ul>	職型枠工		1 = 1 = 1 = 1	配 過	かの街	整作業員 普通作業員	特殊作業員 石工・ブロッ	 	た 特殊運転手職 型格工		1年1月1日	配管工 その他
										1	世皇	米	働力	₩ 6	舞り	K	**/	477	. ,4	. 115							- 1	44.5	. ~			無品	2 张	憲者	10年	《金	 	mad.			

表
TX.
ì
ΊĹ
蒼
靐
民
星
継
設
世

(2025年度第2回)

(周2年)			38.7 52.6	7.3	1.5					75.4	16.1	8.5		24.3	41.2	30.9	6.3	87.5	21.9	3.1		3.1	28.1	•	3.1	63.9	41.7	36.1	F - F F	11.1	22.2		20.1	85.2	9.55	26.0	23.7	19.0	20.7	7.7	1.8	_
(2025年度第2回)	1億	田未確.	52.9	16.1	3.4	0.5				65.8	22.6	11.0	9.0	31.3	39.6	25.0	0.5	93.7	15.2	1.3		7.6	15.2	6.3	i i	77.7	44.6	29.5	10.0	20.1	20.1	0.7	27.5	77.0	53.1	22.8	19.7	2.4	20.6	7.8	1.7	
(20)	5千万	田米県	50.5	22.3	5.6	0.0	0.1	1:0	0.1	57.3	24.8	16.6	1.0	38.0	33.9	24.0	5.8	92.0	18.8	6.0	1.9	9.4	16.4	3.3	1.4	78.0	44.8	29.5	1.5	21.1	23.5	2.0	37.1	73.6	54.0	19.4	17.0	2.2	20.1	9.6	0.8	
, x=	E	日未満	37.5	25.0	25.0	12.5				42.9	14.3	28.6	14.3	44.4	22.2	77.77	11.1	100.0							0	88.9 22.2	44.4	0 00	1	33.3	33.3	11.1	52.6	52.6	36.8	26.3	5.3	7.17	26.3	15.8	10.5	_
		個人		50.0	20.0						100.0				0	100.0		100.0					100 0										0.02	2	50.0	20.0			100.0	20.0		-
	30億	用以上	39.1 49.9	6.6	1.2					71.9	18.0	9.5	9.0	28.1	40.7	27.3	0.8	91.7	20.8	4. 4.		5.6	19.4	4.2	1.4	62.6	53.8	30.8	19.0	16.5	14.3	1.1	18.1	81.7	52.9	24.7	24.2	2.0	24.7	7.0	2.0	-
	30億	田米頭	24.9	13.5	2.6					70.0	20.2	9.4	0.5	39.7	34.0	22.3	5.8 0.2	93.1	15.8	1.0		6.9	16.8	4.0	1.0	73.8	46.3	30.0	6.10	20.0	21.9	1.3	28.9	78.5	9.99	23.0	19.7	3.0	18.6	8.1	1.0	
144	10億	題 全	52.5	21.9	4.7	0.5	0.0		0.2	53.5	26.2	18.9	0.3	36.3	34.0	25.3	4.1 0.3	92.4	17.4	=	2.2	13.0	3.3	2.2	1.1	8.3	45.6	32.0	1.9	23.8	25.7	1.5	37.8	73.3	54.8	20.4	17.2	1.3	19.2	9.0	6.0	
	3億	田米頭	38.0	37.2	13.6	v. c	4.0			40.3	33.7	24.0	0.1	32.2	36.7	26.6	3.4	90.2	19.7		3.3	6.6	23.0	4.9	1.6	87.4	37.4	25.3	1.6	19.2	24.7	2.7	47.6	67.2	49.3	15.2	11.4	1.9	20.4	12.5	1.0	
		設備	26.7	18.1	4.5	0.5				46.9	25.2	25.6	0.2	29.7	40.9	7.07	0.3	91.3	24.6		1.4	7.2	15.9	1	C	9.02	38.9	22.2	2.01	20.8	23.6	2.8	21.4	82.6	49.7	20.1	24.5	7.01	24.7	ω. ω. π	0.3	
	+ + +	·建築	28.8	15.8	3.6	7.0				9.99	23.1	10.1	0.3	34.5	35.5	25.1	4.1 0.8	91.4	18.3	===		9.7	22.6	4.3	2.2	6.6	44.3	32.9	9.0	16.8	22.8	0.0	31.0	79.5	55.1	21.5	16.8	14.0	20.1	8.0	1.0	
素	K H	建築	50.2	22.1	4.5	7.0			0.4	70.2	19.1	9.8	6.0	28.1	34.2	32.7	0.0	100.0	17.0	2.1	2.1	6.4	2.7	i	C L	75.2	39.0	37.1	3.8	16.2	22.9	7:0	33.9	64.8	53.6	19.2	16.3	1.1	22.9	∞ c	1.9	
		*	18.8	21.4	6.2	1.0	2.0			2.09	24.8	13.6	0.5	41.3	34.5	20.9	0.7	7.68	14.5	6.0	1.7	8.5	19.7	6.8	1.7	6.4	48.1	26.4	7.0	24.1	22.7	2.7	40.7	73.0	54.6	21.5	16.8	0.7	17.5	11.3	1.4	
		九州	14.2	21.0	4.0	I: I				8.89	19.4	11.3	0.5	42.4	36.7	19.0	F.1	0.06	7.5			7.5	12.5	5.0		67.1	52.4	37.8	2.4	23.2	20.7	1.2	26.2	80.2	60.4	19.8	19.5	2.0	17.8	×	1.7	
K .		四里	26.0	21.9	8.9	-	1.4			60.3	24.4	14.1	I.3	33.3	41.3	20.0	5.0	92.0	20.0	4.0	4.0	4.0	0.8	4.0	I.	73.5	44.1	× £	T:   F	26.5	26.5	2.9	37.1 25.8	69.7	48.5	26.5	9.01	1.5	23.5	9.1	3.0	
母权未兑化则且 /		田田	30.3	14.7	4.6	6.0				62.7	21.8	15.5		34.2	27.5	30.0	o	96.4	32.1	3.6		3.6	3.6	7.1	C E	87.2	42.6	21.3	2.1	4.3	23.4	2.1	39.6	73.6	48.9	17.6	13.2	1.6	20.3	∞ ∞.	0.5	
E 汉 米 万		近畿	26.5	22.0	3.0	L:5				53.8	24.2	21.2	8.0	28.0	40.8	26.4	0.8	97.1	17.1	2.9	ì	8.6	25.7	i	2.9	83.3	37.0	29.6	1.9	14.8	29.6	C:1	32.5	74.4	50.7	22.2	14.3	3.0	16.3	5.9	0.5	
		東海	53.3	12.7	2.7	0.7				64.3	24.8	10.1	8.0	33.3	35.4	27.1	4.	0.06	10.0			15.0	22.5	5.0	2.5	74.6	42.4	28.8	1.7	20.3	13.6	1.7	34.7	73.1	53.0	19.2	19.2	9.1	23.7	12.8	3.2	
+	Ā	北陸	49.0	20.3	8:0	0.7				60.3	21.2	16.4	2.1	34.7	34.0	21.2	1.4	8.98	23.7			5.3	10.5		5.3	5.3	47.4	28.1	C:CF	22.8	21.1	0:1	31.4	79.4	49.3	18.4	24.7	4.9	15.2	9.0	0.4	
		関東	23.9	20.1	5.6	7.0			0.4	26.7	21.3	20.2	1.1	26.4	36.5	32.2	1.0	91.1	28.6		3.6	5.4	23.2	5.4	L C	76.5	40.0	28.7	0.9	25.2	25.2	3.5	29.5	75.1	53.2	21.1	16.3	2.2	25.9	11.5	0.7	
		東北	17.5 52.1	22.3	7.1	6.0				55.1	28.2	14.7	0.6	34.1	37.1	1.62	1.2	97.5	7.5	2.5	2.5	15.0	7.5	2.5	C L	8.8	44.2	27.4	6:0	23.0	27.4	2.7	41.9	68.2	52.3	20.8	19.8	1.6	22.7	ο ο ο ο	0.3	
		北海道	51.9	17.1	2.7		9 0	?		6.7.9	26.4	2.2		45.2	37.6	15.3	y: 1	87.5	16.7			8.3	25.0	4.2		84.6 5.1	50.0	39.7	2.00	16.7	16.7		34.5	80.0	62.1	23.8	20.9	0.0	14.5	5.5	1.3	
H	全体	$\rightarrow$	51.2	19.3	8.4	×	0.1	1.0	0.1	61.3	23.4	14.3	0.8	34.6	36.2	75.I	0.5	92.0	18.1	e.0 6.0	1.2	8,0	17.2	3.7	1.2	6.7	44.6	29.4	1.1	20.5	22.8	1.7	33.6	75.1	53.7	20.8	18.0	2.0	20.4	9.1	1.2	
<₩	771																																									
幼向-4>			%t	%€	% <del>(</del>	%6	%(	%(	2		ш	Ш	ш 09		п 1	Щ	п	完成工事高の増加	の上昇	ら有ト	の減少	減少	單化 (四)	業	-	完成工事高の減少 発注単価の低下	上海	の上昇	の進力	增加	(天庫)	(4,1.)	Ð		高齢化	上昇	☆ 標	:シエチ 保難	の上昇	増加	の増加	
今期の動向		1	1%米漸 1~1.99%	$2\sim2.99\%$	$3\sim3.99\%$	$4\sim4.99\%$	5~5. 99% 6~6 99%	$7 \sim 7.99\%$	8%以上	809∼	61∼90∄		$121 \sim 150 \text{ H}$ $151 \text{ H} \sim$	` `		91~120H		完成工事	発注単価の上昇	ト請代金の低下答が価格の低下			施工の合理化 天俸各件(良)	技術の革新	その色	完成工事高の複 発注単価の低下	人件費の上昇	下請代金の上昇※対価数の上目		諸経費の増加	競争激化 末條条件(不自)	イヌ米ドかの街	受注の減少	続す版に 人手不足	従業員の高齢化	人件費の上昇	下請の確保難下舗ひをのし	ト請代金の上弁 資材の確保難	資材価格の上昇	諸経費の増加件3数	旧へ舞 金利負担の増加	
V			闽	野世		④	6 ∢	軍軍			古西		9 6 4 7		田田			F			聖		46	聖旨	Į.	減令	16		<u> </u>					_	Ş	真 演	<u>-</u>	8 E	国国	±0€	_	

(2025年度第2回)	資本金別
	岩工高別
	業種別
建設業景況調査データ表	地区別

# 自社の業況 第 * 地元建設業							1						店野森	1/1			计十十十		l		+ 🔆	April		
		_					地区別				1		H H	51	$\frac{1}{1}$	- 1	呾	l	-		魟	_		
		VΠ	全体 上海道	g道 東北	関東	光醫	東	点		田田	九州	<del>⊀</del> +1	<b>建</b>	十八十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十		3億円米浦	10億円米浦	30億 第 田 瀬米田	30億 円以上 値	一 一 一	1千万 万米蒲 万米蒲	5千万 日未蒲 円5	1億円米第一月	1億 刊以上
	はしい。		14.0		9.0 15.0	.0 14.0	15.0	17.0	14.0	12.0	18.0	14.0	14.0		13.0									1.0
				-10 5 -14 0		0.23.0	27.0			24.0	23.0	33.0	28.0							100.0 4				0.0
	DSI い 食		_	┸	-	0.11.0				7.0	10.0	7.0	6.0							_				4.0
	地元建設業界の景気悪い		30.0							32.0	24.0	36.0	29.0							100.0				7.0
	BSI	_	Ĺ	'	_		_			-14.5	-8.5	-16.0	-13.0							_				8.0
} * ↓			12.0	7.0 10						9.0	16.0	13.0	7.0											0.0
1日公77十事	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				49.0 36.0 20.0 -13.5	5 -13.5	39.0			33.0	34.0	42.0	37.0							50.00				0.0
**	(2) 要				╄		$\perp$	╙		12.0	13.0	6.0	17.0											3.0
の 民間工事										31.0	29.0	32.0	34.0							100.0				1.0
* :	BSI	_	_			4		_		-9.5	-7.5	-13.5	-8.5							_	_			4.5
	型 型				12.0 15.0					17.0	18.0	12.0	15.0											2.0
受注総額			37.0 39	39.0 45.0		.0 33.0	39.0			35.0	32.0	42.0	35.0							100.0 4	41.0 4			0.0
->0	ICG ※	+	$\bot$		$\downarrow$	╀	1	┸		10.0	19.0	19.0	10.01								$\bot$			) c
	本 家 い ぶ				22.0 14.	.0 17.0	16.0			13.0	17.0	18.0	18.0											7.0
	BSI									-2.0	-2.5	-3.0	-3.5							-48.5 -1				1.5
				17.0 12						15.0	18.0	16.0	12.0											2.0
会銀行等貸出傾向			5.0		8.0 5.0					0.9	3.0	0.9	2.0							20.0				1.0
場	BSI	-		4	4		4			4.5	7.5	5.0	3.5								_			5.5
	理:				12.0 10.					12.0	10.0	11.0	11.0											9.0
の短期借入金			9.0	6.0 11	11.0 10.0	.0 5.0	6.0			6.0	0.6	7.0	12.0							210	21.0			0.0
Ķ	TO T	-	ľ	ľ	$\perp$	╙	Ĺ,	┸		0.00	0.0	90.0	086						┖	╀	1			0.0
	(金利) (A) (A) (A)									0.1	1.0	1.0	1.0						2.0					1.0
			13.5 15	15.0		.5 12.5	15.0			11.0	12.5	14.0	13.5						14.5	1				4.0
*	容									1.0	7.0	5.0	2.0											3.0
資材の調達			16.0	17.0 16	5.0 17.0					14.0	17.0	16.0	14.0											8.0
	BSI T	+	$\perp$	$\perp$		$\perp$	59.0	4		54.0	63.0	61.0	55.0							100 0 5	53.0	╙		9.0
<ul><li>一</li><li>一</li><li>一</li><li>一</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li><li>本</li></ul>	世				1.0 1.0	0.0				1.0	1.0	1.0	2.0											1.0
郑	BSI		28.5 27				29.5			26.5	31.0	30.0	26.5							50.0				5.5
	松									1.0	1.0	1.0	1.0											1.0
<ul><li>の 建設労働</li><li>申</li></ul>	建設労働者の確保 困		57.0 58	58.0 59	59.0 57.0					53.0	0.09	61.0	48.0							50.0	63.0			5.0
4 克		_	`	'	28.5 -28.0	0.62- 0.	47.0	4		46.0	61.62	-29.5 EE 0	40.0						'	`	4	`		0.7
	T	t 28								40.0	0.10	0.00	1.0						0.00	ი 				0.
(年代2) 原	BS	<del>!</del>	25.5 26	26.0 25		.0 25.0				24.0	30.0	27.0	24.0						26.0	1				3.5
*	増加		_							9.0	11.0	11.0	8.0								_			5.0
日本	漢	<u> </u>	33.0 40	40.0 40.0	40.0 34.0	.0 28.0	31.0			33.0	29.0	38.0	34.0					32.0		50.0	32.0		28.0	22.0
24.6.4.7	ISSI 文 · が · 対 · 対 · 対 · が · が · が · が · が · が	4	4	_				4		-14.0	-10.0	-14.5	-13.0				'	4			4			4.5

# 2025年7~9f# 建設業景況調査票<費社整> (2025年7~9f#) 建設業景況調査票<

く記入上のお願い>ご回答は、回答欄に番号でご記入ください。(番号以外のもの(斜線など)は、ご記入なさらないようにお願いします。) あてはまらない項目や、不明な項目は空白でけっこうです。(※本アンケート調査は、建設業景況調査結果にのみ使用し、他の目的には一切使用いた)

#	ご担当者名	
in .	别	
	·γ°)	
	しません。	

(1. 容易 2. やや容易 3.変らず 4. やや困難 5	<ul> <li>①建設労働者の賃金 (1.上昇 2.やや上昇 3.変らず 4.やや下降 5.下降)</li> <li>○ 随設労働者の確保・賃金について、下記項目に該当するものがあれば みゃっしい は 元 メッション以内達えずください。</li> </ul>		21.左官24.その他(	前期に 今期に	4 8	加 12.発注単価の上昇     11.完成工事高の減少       14.資材価格の低下     13.人件費の上昇	15.金利負担の減少   16.諸経費の減少   15.資材価格の上昇   16.金利負担の増加   17. 結工の合理化   18. 天候条件(良)   17. 諸経費の増加   18. 競争激化   19. 技術革新(機械・ロボット化・新工法の導入等)   19. 天候条件(不良)   20. その他(	物加理由は	『している経営上の問題を上位から3つ以内選んでください。	12. 競争激化 13. 人手不足 (技能・技術者含む) 16. 下請の確保難 17. 下請代金 (外注費) の上昇	19.資材価格の上昇 20.諸経費の増加 21.借入雕 22.金利負担の増加 23.代金回収離 24.その他 (	問題点	よいではありがとうございました。 東日本建設業保証株式会社本調査結果につきましては、後日ご報告させていただきます。 西日本建設業保証株式会社
前期   今期   今期   12月)   に比べて に比べて に比べて 現況は 見通しは	(公羅:	前期に 今期に 比べて 比べて 現況は 見通しは 減少)	(交演) (今演	高越に 小類に ガベム ガベム 超光は 見通しは 後しい)	機しい	5.下降)	金利) 第台]) 現況は	2.151 H ∼ )	51日~) 前期に 今期に 比べて 比べて 現況は 見通しは	(	H   H   H   H   H   H   H   H   H   H		
祝(7~9月)・見通し(10-	3.変らず 4.やや悪い 5. 3.変らず 4.やや悪い 5.	3.変らず 4.やや減少 5.	3.変らず 4.やや減少 5.3 歩らず 4 やや減少 5.3 歩らず 4 やや減少 5.3	でった 4. やや様しい 5	. 変らず 4.やや厳しい 5.編3 参らず 4.やや減少 5	4.やや下降 5	<ul><li>⑩実際の短期借入金利 (7~9月に主力金融機関から運転資金として新規に借入した金利)</li><li>(1.[1%未満]2.[1%台]3.[2%台]4.[3%台]5.[4%台]</li><li>(6.[5%台]7.[6%台]8.[7%台]9.[8%以上]</li></ul>	3.91~120Н 4.121~150Н 5.19	3.91~120H 4.121~150H 5.15IH	3.変らず 4.やや困難 5. ※ ※ ※ * * * * * * * * * * * * * * * *	t 4	調達が	上昇した (
ついておたずねします。〔	(1.良い 2.やや良い (1.良い 2.やや良い	(1.増加 2.やや増加 3	(1.増加 2.やや増加 3 (1.増加 2 やや増加 3 (1.増加 2 やや増加 3 )	(1. 答易 2. やや容易 3	(1. 塔加 2. やや増加 3.	2.やや上昇	ij (7~9月に主力金融機関から 18条満 2.「18台」3.「 5%台」 7.「6%台」8.「	①支払手形の平均サイト(1.~60日 2.61~90日 3.9	2.61∼90⊞	(1.容易 2.やや容易 (1. 上見 9. かお上昇 9.	記項目に該当	ト 12.砂利・砕石・砂 品 14.棒鋼 15.形鋼・厚板 17.木材 18.合板	20.塩で管
現況と見通しに  1. 業況等について	①貴社の業況 	2. 工事受注について ③官公庁工事受注額	④民間工事受注額 (3年注終額(3+4)	3. 金融・資金繰りについて (()資金繰り	①銀行等の貸出傾向 (8)短期借入金	③短期借入金利	⑩実際の短期借入金利 (1.「 (6.「	①支払手形の平均サイ	<ul><li>⑩受収手形の平均サイト(1.~60日</li><li>4. 資材の動向について</li></ul>	(3)資材の調達(3)登存を開発	○女な配品 ⑤資材の調達・価格! 各々3つ以内選ん*	11. 生コン・セメント 13. コンクリート二次製品 16. 鋼矢板・鋼管	19.アスファルト合材 22.その他(

建 設 業 景 況 調 査 2025年度第2回(通算第178回)

発行: 北海道建設業信用保証株式会社 札幌市中央区北3条西4-1-4

〒060-0003 TEL 0 1 1 (2 2 1) 2 0 9 2 代

東日本建設業保証株式会社 東京都中央区八丁堀2-27-10 〒104-8438 TEL 03(3552)7525(代

西日本建設業保証株式会社 大阪市西区立売堀2-1-2 〒550-0012 TEL 06(6543)2556(H)